

第8回名古屋市生徒会サミット 2021 中学生の祭典「チュー祭」 実施報告書



主催：特定非営利活動法人 教育支援協会東海

共催：名古屋市教育委員会

後援：名古屋市立小中学校校長会

名古屋市

公益社団法人名古屋青年会議所

助成：公益財団法人日本財団

協賛：ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社他

地元企業サポーター22社

日時：2021年10月16日（土）17日（日）10:00開始 17:00終了

場所：オアシス21 銀河の広場

■趣旨

名古屋市の次世代リーダー達が一堂に集い、他者や地域のことを真剣に考え、未来の名古屋に貢献できる真のグローバルリーダーを育成する。

■内容

2015年の名古屋市生徒会サミットで、一つのグループが発案したアクションプラン『中学生の祭典「チュー祭」』を2日間に亘り開催し、身近な課題から世界の課題まで祭りを起こして発信する。

今まで熟議してきた5つのブース（防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー・名古屋もりあげ）に加え、コロナ禍からの教育のアンケートコーナーを設け、SDGsへの啓発を行う。

地元企業の協力を得て名古屋をもりあげる催しを行う。

■参加者

生徒会発表：名古屋市立中学校生徒会（有松中学校・大曾根中学校・香流中学校）

個人発表：名古屋市立菊里高校書道部 名古屋市立中学2年 小菅あおいさん

名古屋市生徒会サミット実行委員53名

一般参加 2日間 1027名

ゲスト：名古屋おもてなし武将隊 家康様 NPO 桜ライン 311 代表 岡本翔馬氏
京都芸術大学 寺脇研氏 ボーイズ&メン（食レポ動画）



■これまでの経緯

- | | | |
|---|-------------------|----------------|
| 第1回 2013年7月17日(火) | 名古屋市教育センター6階研修室 | 26校 72名 |
| ・テーマ「生徒会として行える地域貢献」 | | |
| 第2回 2014年1月18日(土) | 名古屋市立笹島中学校ランチルーム | 17校 70名 |
| ・テーマ「生徒会として行える地域貢献 3つのテーマで(防災・環境・いじめ撲滅)」 | | |
| 第3回 2015年9月19日(土) | イーブルなごや2階視聴覚室 | 16校 70名 |
| ・テーマ「地元をもりあげるアクションプラン」 | | |
| 第4回 2016年10月29日(土) | 御器所ステーションビル5階大会議室 | 13校 62名 |
| ・テーマ「4つのテーマで熟議をしよう(防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー)」 | | |
| 第5回 2017年10月22日(日) | 御器所ステーションビル5階大会議室 | 11校 59名 |
| ・テーマ「4つのテーマで熟議をしよう(防災・環境・いじめ撲滅・SNSリテラシー)」 | | |
| 第6回 2018年10月20日(土) | 御器所ステーションビル5階大会議室 | 8校 35名 |
| ・テーマ「チュー祭をもりあげよう！(4つのテーマの積み上げをどう伝えるか)」 | | |
| 第7回 2019年8月2日(金) | 御器所ステーションビル5階大会議室 | 19校 65名 |
| ・テーマ「チュー祭をもりあげよう！(4つのテーマ以外でチュー祭でやってみたいことを出し合おう！ダイナミックな発想で)」 | | |
| 第8回 2021年10月16日(土)17日(日) | オアシス21銀河の広場 | |
| 第1回 中学生の祭典「チュー祭」開催 | ～SDGsをわたしたちの手で～ | 来場者 1027名(2日間) |

(2020年に開催予定は新型コロナウイルス感染拡大のため2021年に延期した。)

2024年 第2回 中学生の祭典「チュー祭」開催予定

■ 日程

2021年10月16日(土) 10:00~17:00

○ブースからの発信

防災・環境・いじめ撲滅・SNS リテラシー・コロナ禍からの教育・名古屋もりあげのブースをつくり、SDGsに向けた啓発や、地元名古屋の魅力を発信した。ステージでは、名古屋市立中学校3校による生徒会活動の発表を行った。(有松中学校・大曾根中学校・香流中学校)

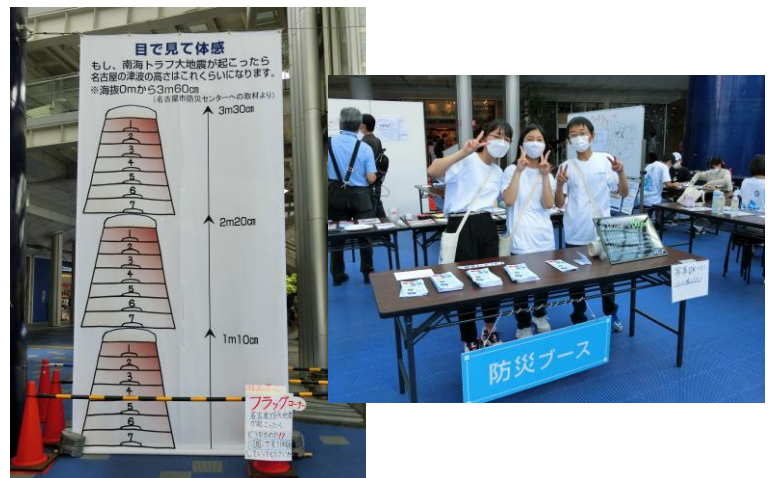
■各ブース発表内容

【防災ブース】～防災と減災・自分の命を守るということ～

○防災グッズを作るワークショップ



○津波の高さを目で見て分かるフラッグを展示



○防災に関するクイズコーナー



○防災バッグの中身展示



○パンフレットの配布



○成果と課題

- ・お客さんに丁寧に対応できた。
- ・メニューの数、種類については良かったと思う。
- ・まだまだ自分たちに防災の知識不足がある。
- ・フラッグが目立たなかった(設置の位置)
- ・掲示物が小さかった。会場の下見をしてイメージする必要がある。
- ・時間配分がうまくできず、お客さんに対応不足だった。
- ・お客さんと話すシュミレーションをすればよかった。

○3月までのアクションプラン

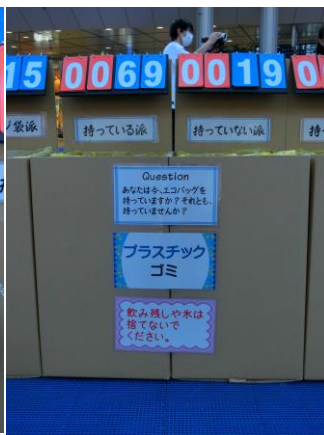
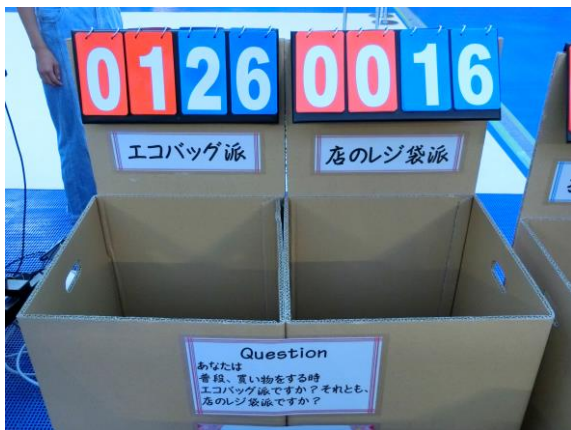
- ・メンバー全員で防災センターへ行き地震体験をしたり、講座を受けたりする。
- ・過去の災害について、(伊勢湾台風など) 1人1つ調べて実行委員会で共有する。

【環境ブース】～ゴミミッション・SDGs へのムーブメントを起こそう～

○エコキャップオブジェ作成



○ゴミ分別アピール



○協賛企業ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社さんによる SDGs 講話

○名古屋市環境局提供のゲーム (SDGs かるた)



【振り返りの会から】

○Keep 続けること

- ・とにかくやってよかった。
- ・小さい子どもと目線を合わせられた。・積極的に呼びかけを行った。
- ・エコキャップオブジェが完成できた、完成したときにみんなが笑顔になって一つになれた。
- ・SDGs かるた、小さい子どもと一緒に勉強できた。
- ・ポッカさんの講演の缶があまったので他の参加者にもプレゼントした。
- ・学校で何度もチュー祭を宣伝し学校の先生もたくさん見に来てくれた。
- ・常設のパネル展示は良かったと思う。

○Problem 問題点

- ・チュー祭とは何かうまく説明できなかった、説明しても、その意義を伝えられなかった。
- ・お客さんとの対応がスムーズにできなかった。
- ・メンバーが4人しかいなくて人手不足で1人1人の負担が重くなった。
- ・講演もSDGsカルタも集客が不十分で人数が集まらなかった。
- ・完成したエコキャップオブジェをお披露目する機会がなかった。

○Try やってみるごと

- ・チュー祭のコンセプトについて、みんな考えて同じ方向でやっていく。
- ・何のためにやるのか、本当に伝えたいことは何かをきちんと考える。
- ・質問されたときに、自分が担当ではないと言わない、情報共有する。
- ・宣伝広告やポスターを広範囲に広げる。
- ・会場入り口のポスターをもっと分かりやすくする。
- ・各ブースの見どころ宣伝をオープニング以外でもモニターで表示する。
- ・お客さんと一緒に作るワークショップをしたい。
- ・企業とのコラボや全ブースと協力して他ブースをおすすめしたり、みんな一つのを完成させる企画にする。

【いじめ撲滅ブース】～一人ひとりの意識から・いじめの深刻さを考えよう～

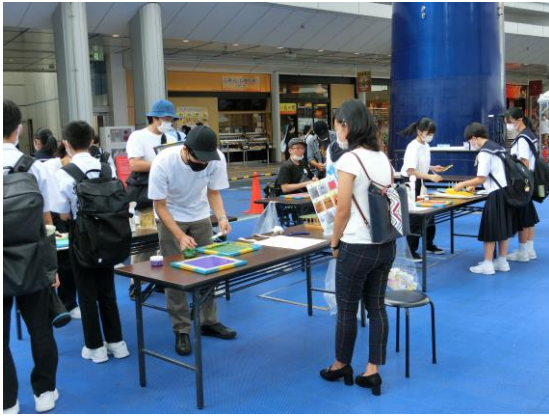
○スクリーンにいじめ撲滅への思いを集めた動画を放映



○シルクスクリーンワークショップ

7種類のいじめ撲滅への思いを込めたデザインをエコバックに刷る。(限定100枚)





【振り返りの会から】

○成果と課題

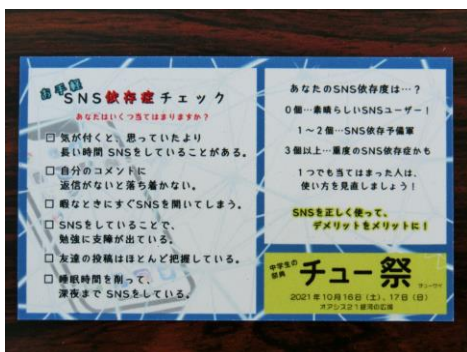
- ・全体的に宣伝不足だった。もっと SNS（公式インスタなど）を活用して呼びかけを行えば良かった。
- ・それぞれが忙しかったり、緊急事態宣言もあって準備時にメンバーが揃わず円滑に進められなかった。
- ・シルクスクリーンのワークショップでは、限定 100 枚を超えて、「作りたい」という人が後を絶たなかった。（翌日も NHK ニュースを観てトートバッグを作りたいと来場した人が何人かいた。）
- ・全体動画については、中学生を巻き込むことができたし、いじめ撲滅への啓発に一定の効果を見せたと思う。
- ・アンケートでも回答 50 名中 33 名がいじめを考えることの大切さへの意識向上に yes と答えていた。

○3月までのアクションプラン

- ・インスタを活用して（いじめ撲滅公式アカウント）投稿を続ける。また、フォロワーを増やしていきたい。

【SNS リテラシーブース】～メリットとデメリットは紙一重～

○SNS リテラシーに関する動画をもとにディスカッションとクイズ



○『映える』スポットをつくり、SNS であげてもらおう。



【振り返りの会から】

○成果（募金箱）

- ・センサー付きの募金箱を作った。

（募金合計¥12,318 次回チュー祭に繰り越し）

設置位置が入口から遠かったことと、アニメーションがなく、増えていることが分かりづらかった。

○成果（ディスカッション式セミナー）

- ・大人が多く参加してくれて、好印象だったと思う。
- ・アンケートからも「SNS について知らないことばかりで勉強になった。」という感想が最も多かった。

○課題（ディスカッション式セミナー）

- ・少人数でも回せる体制を作る。
- ・子供でも気軽に入れる環境を作る。

○成果（映えスポット）

- ・多くの人が撮影をしてくれた。特に来場者の中でも小学生以下の子どもが多かった。

○課題（映えスポット）

- ・デザイン案に時間をとってしまい、製作時間が少なかった。
- ・それこそもっと SNS を活用し、グループラインで計画的に進めれば良かった。
- ・SNS について、今後は、もっとさまざまなケースに対する対策を考えて発信したい。

○今後に向けて

- ・報連相の徹底。
- ・メンバーが SNS をやっていなかったため（中学生、親の携帯など）宣伝不足だった。広報の専門班を作る必要がある。
- ・来場者に情報を伝える必要がある→パンフレットやパネルを有効活用する。
- ・気軽に入れるブースにする。
- ・参加しなくても見ることができる展示形態にする。
- ・SNS についての知識を調べて、もっと深めていく。

【名古屋もりあげブース】～名古屋の魅力と名古屋めしを全国に発信したい～
 ○ボーイズ&メン協力の名古屋めしの食レポの上映



○名古屋めしの販売

- ①名古屋めしのお店7店舗とコラボした「チュー祭弁当」を販売する。
 (協力店 矢場とん・味仙・あつた蓬莱軒・スパゲッティヨコイ・山本屋総本家
 世界の山ちゃん・まるは食堂) (煎餅提供 桂新堂)
 (箱の提供 株式会社山下・スロメ名古屋)
- ②オリジナルの和菓子を販売する。
 (協力店 両口屋是清・妙香園)

売り上げ

¥198,400

次回「チュー祭」に繰り越し



【振り返りの会から】

○成果

- ・名古屋のことを知ってもらえた。(観客を巻き込んで)
- ・これからの人生が豊かになった。
- ・次回以降の運営がしやすくなった。(飲食店とのつながりが持てた)
- ・チラシを見やすいところに張った。呼び込みをした。並んでいる人に配った。
- ・緊急事態のために付箋を準備した

○課題

- ・検定の準備が足りなかった(1時間の台本が作れず、家康様のアドリブに助けられた)
- ・緊急事態宣言などで連携がとれず準備の日程がかなりぎりぎりになった。
- ・若い人をもっと呼び込みたかった(実行委員の父母が中心だった。広告をしたい。)
- ・検定のアドリブがうまくできなかった。
- ・会場設備の確認を心がける(会場機器の文字化けなどが起こった)
- ・サンプルがあればよかった(試食の写真がなくて効果的な宣伝ができなかった)
- ・お茶の配布の準備がぎりぎりになってしまった(保健所の審査の見通しが甘かった)
- ・貼るための大きなチラシが欲しかった。

○3月までの実践

- ・もっと名古屋の魅力を知る。(自分たちも名古屋のことを詳しく知らなかった)
- ・協力企業へのお礼と3年後の約束を取り付ける。
- ・名古屋検定や名古屋飯以外も発信したい。
- ・インスタのアカウントを活用したい、中学生が伝える名古屋的な観光ブログを作成する。(受験生が家からでもできる)

【コロナ禍からの教育ブース】～アンケート～

アンケート回答

内訳：小学生2名 中学生4名 高校生以上4名 教育関係者・保護者12名

<小学生>

Q どうしたらべんきょうが楽しくなるとおもいますか？

A・みんなで協力して楽しく、いじめ、けんかがなくなる。

- ・ニュース・本など目にふれることがらに関心と好奇心をもつと楽しくできると思う。

<中学生>

Q 学校生活や勉強に関する悩みはありますか？

A ある3名 特にない1名

- ・勉強を頑張ってもなかなか結果が出ない。
- ・CPを使うのが難しい。
- ・コロナで授業時間が短くなって受験に間に合うかどうか。

Q 今の学校に望むことは何ですか？

A・マスクなしでしゃべれるようになりたい。

- ・体育祭や文化祭がしたい。
- ・ランチの時に話しながら食べたい。
- ・もっと授業を楽しめるようにしてほしい。

<高校生以上>

Q 理想通りの学生生活、または日常生活が送れていますか？

A・遊ぶ機会がずいぶん減った。常に周りの目が気になり、友達と遊びに行ったりする機会が減り

勉強だけの日々が増えた。

- ・キャンパスライフに憧れて大学に入ったのにずっとオンライン。

Q 今の日本の教育の変えるべき点と残すべき点は何だと思いますか？

A・生徒同士の学び合い話し合いの機会が少なくなったので増やす。

- ・校則といったルールは残すべき。
- ・必要な教科だけでいい。校則はいらない。
- ・経済格差による教育格差をなくす。
- ・対面授業、課外活動は残す。
- ・すべての子どもたちにとって通いやすくなるように。
- ・今ある義務教育無償化は残す。
- ・給食費、アルバム代も国がまかなえるようになればもっと均等に教育が受けられる。

<教育関係者・保護者>

Q 子どもにどんな教育を受けてほしいですか？

A・平等。

- ・受験だけでなく、お金の仕組み、政治の仕組み、社会の仕組みなど学んで欲しい。
- ・考える力、自ら経験し、学ぼうとすること。
- ・伸び伸び夢を持って育ててほしい。
- ・思い描いたことが、できるだけ形にできるような活動。
- ・自分の学びたいことを自由に選択できる教育。
- ・選べる教育。将来の進路に合った内容。
- ・何より自由。フランスの詩に愛は自由の子どもだというのがありますが。この時代他人と別のことを考える自由も大事。制服はやめるかどうか、着る着ないの選択も自由。カリキュラムは芸術をもっと入れるべき。いろんな音楽を聴いているんな楽器にも触れられるといい。
- ・道徳。
- ・人を大事にして思いやる心を育むような教育。
- ・学校の外でも自由なタイミングで学べる環境。

Q 今の日本の教育の変えるべき点と残すべきことは何だと思いますか？

A・コロナで人と関わる機会が減っているので、日本人が持っている人を思いやる心を大事にしてほしい。

- ・教育費に自己負担がなるべく少なくなるように。フランスやドイツは大学はほとんど国立で安いそうです。学力格差がなくなること。残すべきは、学校を含めた学びの場。特に小学校の統廃合は長い目で見てやってはいけない。職業として教員のみならずスクールカウンセラー、支援員など子どもを守る人材を早急に。
- ・ゆったりとした教育。
- ・変えるべき 先生の頑張りに依存する点。残すべき あいさつ、時間管理などの基本的習慣。
- ・全ての学生に同一の教育を施すべきであるという考えを変えるべき。現在の教育レベルを変えずその中で自身の選択を尊重する必要がある。
- ・これまでの不要なものを壊すことが必要。そして創造につなげる。
- ・知識の生かし方を考える力を持つことが大事。偏った意見を取り入れない。疑問に思ったら聞く力を身につける環境を整える。手を出しすぎない見守り。
- ・無駄を排除している方向に向かっているか？無駄と思われることからの学び経験が将来に生きてくるのではないのでしょうか。
- ・変えるべきこと 先生は大変。みんなが学びあえる体制づくり。学校は学ぶ場であり、人が人生を送る場所。
- ・高校生以上は一斉授業を廃すべき。

【生徒会活動発表】有松中学校・大曾根中学校・香流中学校

名古屋市立中学校から3校がエントリーしてくれました。



有松中学校のマスコットキャラクター「ありぼんた」登場。有松絞りは全国的にも有名だが、もっと有松の文化を知ってほしい。生徒会執行部で昨年度「アリバズール」という施策を行った。各クラス1つの布にイラストや学級目標を書き、それをつなげて屋上に飾った。有松の古い家の造りはSDGsの中でも「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」や「11. 住み続けられるまちづくりを」に関わる。かなり昔から持続可能な社会を実現するための取り組みが行われていたことが分かる。「有松は魅力あふれる街です。興味を持った方はぜひ有松にいらしてみてください。」と呼びかけた。



みんなの笑顔があふれる学校、学年関係なく仲の良い学校。そんな大曾根中学校をつくるため「生徒の生徒による生徒のための生徒会」を目指すべく生徒会目標を「CHANGE～大曾根中の挑戦～」にリニューアルした。これまでは、何か新しいことを始めようとしても、なかなか思い通りにならなかった。しかし、4～5年前からもっと学校をよくしたいという意見が増え3年前の生徒会役員の人たちから変えていくことにした。古いスローガンは一新して現在のスローガンの土台になるスローガンができた。新しいことにどんどん挑戦して誰もが楽しいと思える学校づくりを目指す。



香流中学校は、SDGsの中でも環境問題に力を入れている。目的は仲間とともに成長すること。学校外に出て掃除をすることで地域や社会に目を向けること。環境を美しく保つ心を成長させること。SDGsにもあるように自分たちの手で住み続けられる街をつくっていくことを目指している。最初は小さな力であっても新しいことに挑戦したいという思いを持ち続ければ物事は変えていくことができると改めて気づかされた。「チュー祭に参加することで中学生でもSDGsのような世界規模の問題のために少しでもできることがあるという証明を行っていると思う。これからも自分たちにできることを一つずつ挑戦していきたい。」と意欲を語った。

■日程

○ステージからの発信

2日目はゲストを招いてSDGsに向けた発信と名古屋をもりあげる催し、個人発表を行った。

2021年9月12日(日) 10:00~17:00

○名古屋市検定

名古屋おもてなし武将隊家康様のクイズショー
～名古屋にまつわるクイズを会場全体で～



○個人発表

個人発表では、名古屋市立菊里高校書道部と、名古屋市立本城中学校 小菅あおいさんがエントリーしてくれました。

菊里高校書道部のパフォーマンス

音楽に合わせて、その場で大きな紙に自由に描いています。

「ありのままの自分で」というメッセージを添えています。



名古屋市立中学2年 小菅あおいさんのスピーチ

小菅さんは、SDGsに向けて、主にジェンダー平等についてスピーチしました。

「SDGs の理念でもある誰も取り残さない世の中をできることから始めましょう。」と会場に向けて堂々と訴えました。



○講評（ゲスト 京都芸術大学 寺脇研氏）

寺脇研氏は、2013年名古屋市生徒会サミットを開始した時から本事業を応援してくださり、毎回ご講評をしてくださっています。教育に精通しておられる寺脇先生から、このような事業は全国的に見ても類を見ないと講評いただきました。



○ディスカッション テーマ「SDGs に向けてムーブメントを起こそう」

(ゲストファシリテーター 桜ライン 311 代表 岡本翔馬氏)

今回は、陸前高田市から、桜ライン 311 代表の岡本翔馬さんにお越しいただき、SDGs に向けたディスカッションのファシリテーターをお願いしました。

ステージ下では、いろいろな年齢の参加者がグループをつくり、岡本氏の投げかけによりディスカッションをしました。



○成果発表

実行委員全員がステージに上がり、ブース毎に成果を発表しました。



○エンディングセレモニー 実行委員 井上真緒

実行委員第 2 期生の井上真緒が歌を披露してくれました。現在は関東の大学生です。

実行委員会は学校の垣根を超えた横の繋がりだけでなく、縦の繋がりもある貴重な場です。



■中学生の祭典「チュー祭」振り返りの会 10月31日（日）13:00～17:00

実行委員会では、3年後の第2回「チュー祭」に繋げるための振り返りの会を行いました。

発表班1

<どんなチュー祭にしたい>

- ・ジェンダー平等について取り上げたい。
- ・囲いをなくす、音楽をかける、スクリーンを増やして動画をたくさん流す。とにかくいろいろ企画したい。
- ・真面目なオーラをなくして、派手さを増やすのも必要。
- ・SNSで宣伝をする。(マスト)
- ・弁当やカフェを会場で楽しめるようにしたい(今回は感染症対策で断念した)

<どんな実行委員の活動にしたい>

- ・SNSを使いどんどん宣伝したい(早速)
- ・自分のブースの知識を増やし人に質問されたときに完璧に答えるようにしたい。

発表班2

<改善点>

- ・ブースどうしの連携が足りなかった。
隙間時間に別のブースへ誘導できるようにまでできるようにする。
- ・来場者が少なかった。若い人を呼び込むため流行物を取り込む。
- ・囲いがあってまじめな雰囲気があった。(感染症対策で)
受付に机が並んでいて入りにくかった。会場レイアウトも実際会場で行う。
- ・レイアウトで、真ん中が空いていて、何をやっているのか分かりにくかった。
- ・1日目と2日目のバランスが悪い、ステージ発表の次に行くところがない。2日目もブースは残す。
- ・雰囲気が暗いからカラフルにしたい。
- ・お弁当や映えスポットを入口にして入りやすい雰囲気にしたい。

<3年後に向けて>

- ・場所を変えたい。地下ではなく地上にして通行人が入れるように、栄ではなく、ナゴヤドームなど落ち着いた場所でやりたい。
- ・チュー祭で起震車体験ができるようにしたい。
- ・中学校校長会も校長先生全員に呼びかけるのをもっと頑張ってもらいたい。学校でも校長先生はもっと頑張って広めてほしい。
- ・お弁当販売のときにフォローしてくれた人の割引を作る。
- ・インスタも興味深いものにしてファン(フォロワー)を増やす。

<実行委員会>

- ・学校学年を超えて仲良くなるために懇親会を開きたい。
- ・実行委員会に来るのが楽しみになるような場にしたい。
- ・小難しい話し合いの場ではない場所にしたい、面白そうな場にしたい、軽い気持ちで入ることができる場にしたい。横の交流をもっとしたい。

発表班3

<次のチュー祭でやりたいこと>

- ・グッズを作りキャラクターの活躍の場をつくる。
- ・装飾などしてチュー祭全体を華やかなお祭りにしたい。雰囲気が冷たい感じがある。

- ・1日目のステージは最初しか使っていないためラジオ番組のように活用したい。
イベントをやっている感を出す。
- ・モニターを使ってブース紹介を流す。
- ・チラシは1-2週間前に配るようにするともらった人が忘れない。
- ・スタンプラリーに加えて公式アプリを作って電子スタンプアプリを作りたい。文化祭公式アプリが出て、各ブースの待ち時間が表示されるようにする。
- ・全体的に今のままだと講義、講演、お勉強感が出てしまっている。特にSNSや防災、もっと中学生が触れたいというくみをじっくり考えていきたい。

発表班4

＜次のチュー祭はどうしたい＞

- ・チュー祭をより宣伝してお客さんを集めたい。
- ・ブースごとの協力体制を強くしたい。
- ・お客さんに積極的に話しかけたい。積極性を強化したい。
- ・お互いのブースを把握するために事前に各ブースに行って体験をしておきたい。
- ・長期休暇を使って、長く大規模なチュー祭を行いたい。

＜実行委員を増やすために＞

- ・インスタやティックトックで宣伝したい。
- ・写真を使って朝の会や休みの時間を使って宣伝していきたい。

＜今後どう関わるか＞

- ・今後高校生や大学生になる人は宣伝班を作り中学生にアドバイスする役割にする。

発表班5

＜5つの目標＞

- 1 いろいろな人に知ってもらう
- 2 対応力を上げる
- 3 SNSを活用する
- 4 雰囲気づくり
- 5 集客（若い人、名古屋以外も）

＜3・SNSの活用について＞

- ・ティックトックやTwitterを使って人を呼び込んでいく。
- ・なぜティックトックかと言うと、ティックトックが一番閲覧数が多い。
- ・チュー祭にわざわざ岡山からきてくださった方がいた（岡山JKnote→インスタがおしゃれだった）
これからチュー祭の公式インスタを改善する。

＜4・雰囲気づくり＞

- ・盛り上がっている感を出したい。
- ・各ブースの内容をもっと分かるようにする。

＜リーダー育成＞

- ・中学生にブースリーダーを任せる。
- ・各中学校への宣伝、学校自体で活発に活動して宣伝したい。
- ・3年後を待たずに今すぐにでも動く。
- ・生徒会サミットがまだできてないので、やりたい。



チュー祭 アンケート

質問 回答 140 設定

140 件の回答



回答を受付中



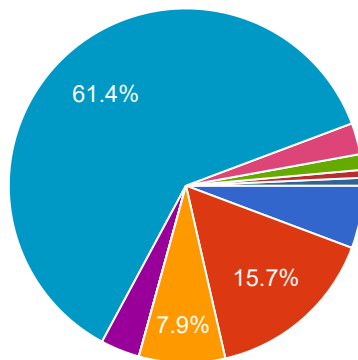
概要

質問

個別

1. あなたのご職業をお聞かせください。

140 件の回答

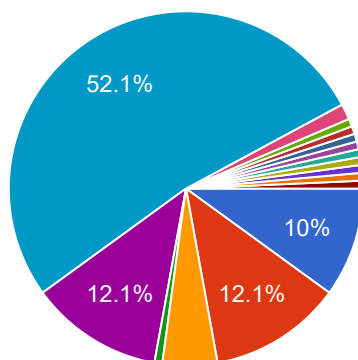


- 小学生
- 中学生
- 高校生
- 専門学校生
- 大学生
- 社会人
- 主婦
- 保護者

▲ 1/2 ▼

2. 「チュー祭」をどこで知りましたか。

140 件の回答

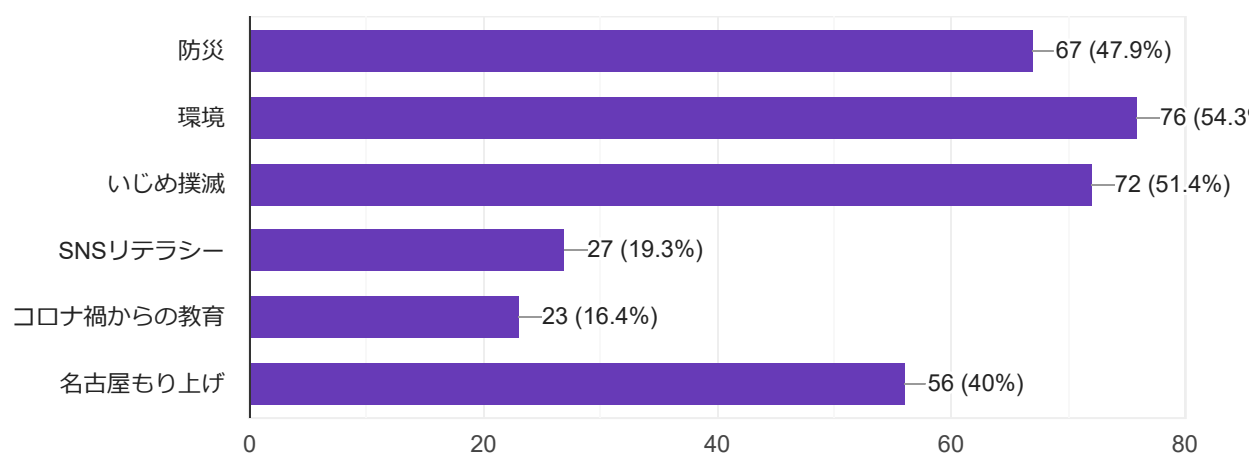


- 学校で教えてもらった
- 友達から教えてもらった
- チラシを見て知った
- SNSを見て知った
- 子どもが実行委員だから
- たまたま通りかかった
- 生徒会出演者から
- 主催者から案内していただいた。

▲ 1/2 ▼

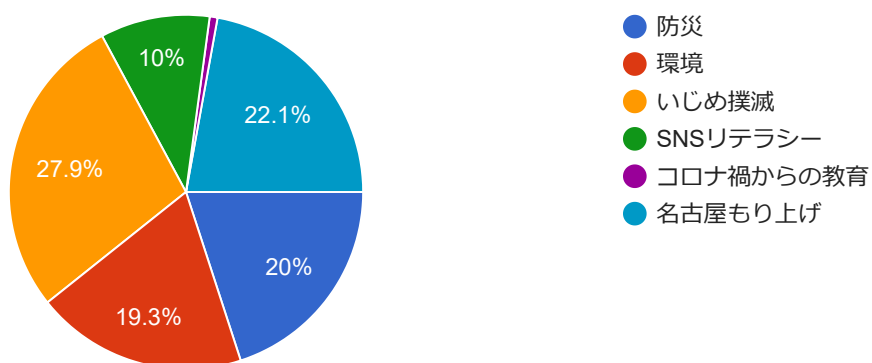
3. 本日はどのブースを訪れましたか。(複数回答可)

140 件の回答



4. 最も印象的であったブースをお聞かせください。

140 件の回答



5. 4で回答したブースの、どのような点が印象的でしたか。

105件の回答

クイズ

防災についてよく知ることができた。

クイズが面白かった

体験をこどもにさせてあげたい

手作り感が良かった

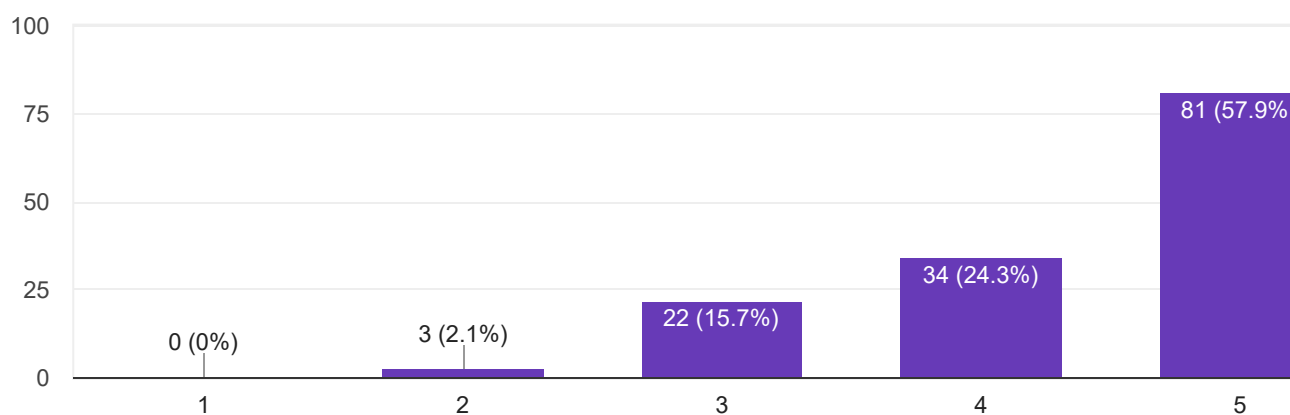
物を作ったりクイズがあった

皆さん楽しそうに接客していた

危機感を感じているから

6. 「チュー祭」全体の満足度をお聞かせください。

140件の回答



5. 4で回答したブースの、どのような点が印象的でしたか。

防災についてよく知ることができた。
クイズが面白かった
体験をこどもにさせてあげたい
手作り感が良かった
物を作ったりクイズがあった
皆さん楽しそうに接客していた
危機感を感じているから
頑張っって声掛けしててよかった
詳しく書いてあって良かったです。
わかりやすく教えてもらったこと
お弁当。
わかりやすく説明していたから
押しの強さ
広告が目立っていました
目で見て体験
子供たちの生き生きさ
名古屋のごみの歴史と問題がわかりやすくまとめられていた
弁当の販売方法がよかった
地域文化を取り入れたり、生徒会が学校の委員会と連携して学校一丸となって取り組んでいることなど、それぞれの取り組みを発信していたところ。
学校によって多種多様な活動を行い、より良い学校づくりをしていたところ
楽しそうにやっていたから 訪れる時間が遅かったのでまわりきれませんでした。
とても楽しかった
てさげ作成楽しめた
てさげバッグが楽しかった
いじめにつながることはじめはささいなことだ
ふくろをつくったのがたのしかった
つくるのがたのしかった 家でつくれる
簡単にバッグを作れて楽しかった
名古屋の名店がたくさんあったから
クイズがおもしろかった
クイズがあつて楽しかった
SNSについてもう一度考えることができた
クイズ
バッグづくり
本格的なお弁当だった
フォロワー170人が一気にトレンド1位になった話
リテラシーの重要性
いろんな名古屋名物が食べられた
食レポ
ネットは便利だけど使い方に気を付ける
スタッフがとても優しく、いじめに対してのことも伝わったから
いじめを撲滅することだけでなく、エコバッグで環境の活動にもなっていたから
決して海から遠くないのにここまで高いとはおどろいた
楽しかったです。
ペットボトルキャップでツリーをつくるという点が印象的だった。実行委員のみなさんが頑張っていて感動した。
食レポ動画
クイズ
クイズ
バッグのデザインがいじめ防止につながっていてたくさんの人に知ってもらえるのがいいと思った。
いじめは絶対あってはならないと心に残った
いじめ撲滅の大切さがわかった
バッグをつくるときにいろいろとアドバイスし合ったり、失敗しても声をかけてくれて楽しめた。
知らなかったことを知れた
意外と知らないことを知ることができ、防災についての理解が深まった
いじめが続いていること
楽しかった

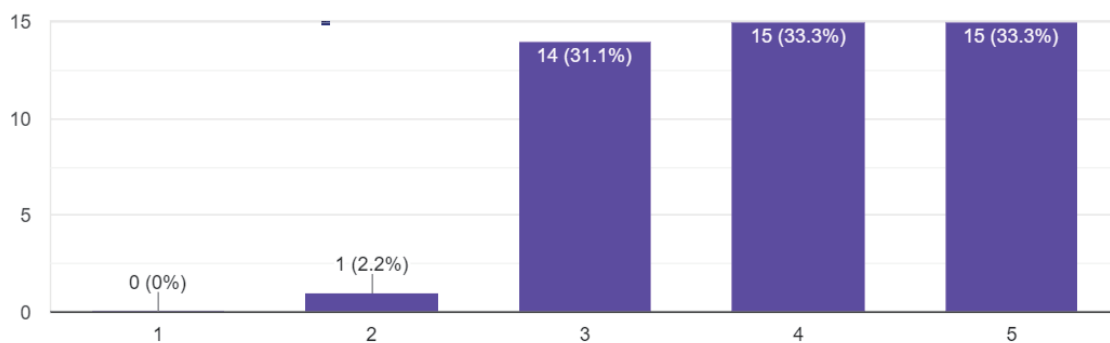
中学生が頑張っていたのが素晴らしい
エコバッグづくりができて良かった
エコバッグのメッセージ
とにかく企画が素晴らしい
若者の頑張り
有名店とのコラボよく考えていると思った
実施できたことが嬉しい。頑張ってください。
なごやめし
中学生が主体
自分で災害時に新聞でスリッパなどを作ることができる
知恵があふれていて楽しかった
SNSは便利だが、他人の気持ちを考えて正しく使おうと思った
エコバッグ教えてくれた人教え方うまい。
バッグにキャッチコピーを印刷することで会場に来ていない人と会話のきっかけになる
勉強になった。10代が作ったものには見えなかった。良かったです。
何となくおもしろかった。
笑顔で案内してくれてとても良かった。
エコキャップタワー
中学生が一生懸命取り組んでいた。
子どもたちが自ら運営し、メッセージを届けようとする姿が良かった。
分かりやすかった。
会社と協力して商品を出したところが良かった。
キャップの展示が実効性があった良かった。
手提げ袋がもらえた。
生徒が優しく教えてくれた。
動画の投げかけが響いた。
岡山から来ました。名古屋名物が一気に食べられるとても良いアイデアだと思いました。
分かりやすく丁寧に教えてくれて参加して楽しかった。
子どもたちが作るのを楽しんでいた。
防災に地域が携わる子どもたちの考え行動力、良かったです。もっと関心を持ってくれる人が増えると良いです。
かるたで年齢問わず参加していた。ポスターが見やすかった。
通りかかりでも楽しそうなことが伝わる。
たくさんの方とコラボして、まさに名古屋もりあげということが達成されていたと思います。みなさんこれまでの企画準備お疲れ様でした。
みんな楽しかった。
手作り感があった。
チラシや津波が分かりやすかった。
ブース数が少ないかなと思った。
シルクスクリーン 動画
お弁当が美味しかった。これからどんどん名古屋を盛り上げてほしい。
日頃どのようなことに気を付けたらいいか分かった。
生徒の生の声が聞けた。
身近な話題として再認識させられた。
とても分かりやすく、身近なことを聞いて良かった。
美味しそうな名古屋飯、楽しかった。
ポリオワクチンになるという点
今後の自分にも関係あることだと思ったから
新聞のスリッパづくり

SDGsへの理解度について

①防災意識は高まりましたか？

コピー

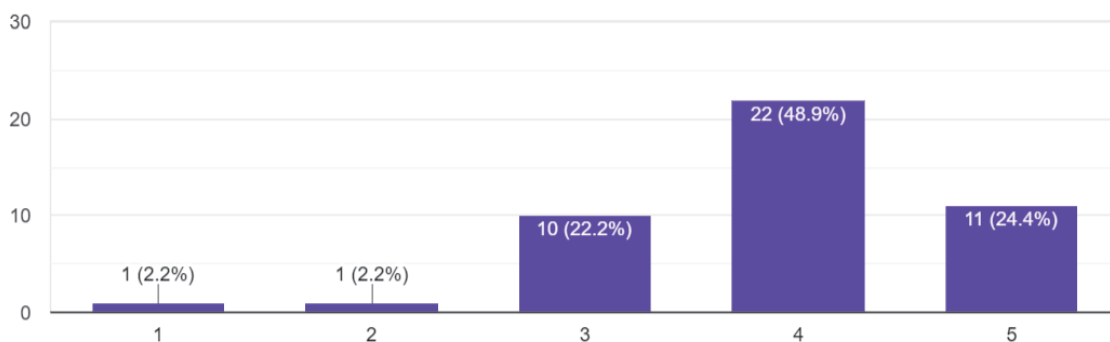
45 件の回答



②環境への理解は深まりましたか？

コピー

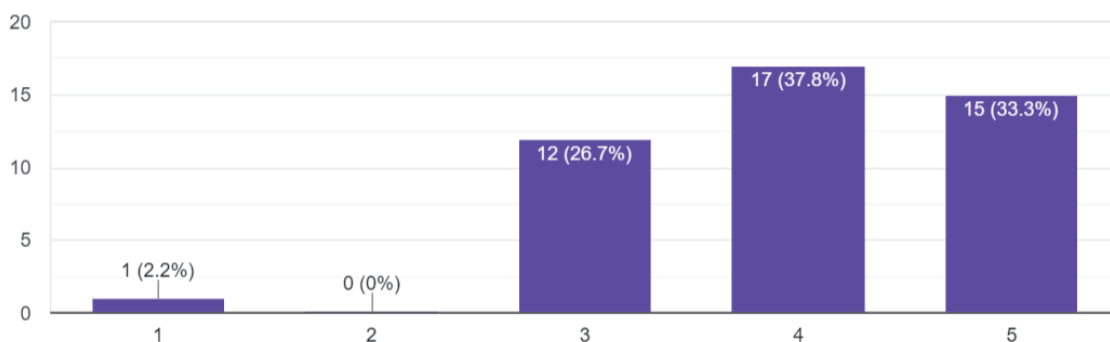
45 件の回答



③いじめ撲滅への意識は高まりましたか？

コピー

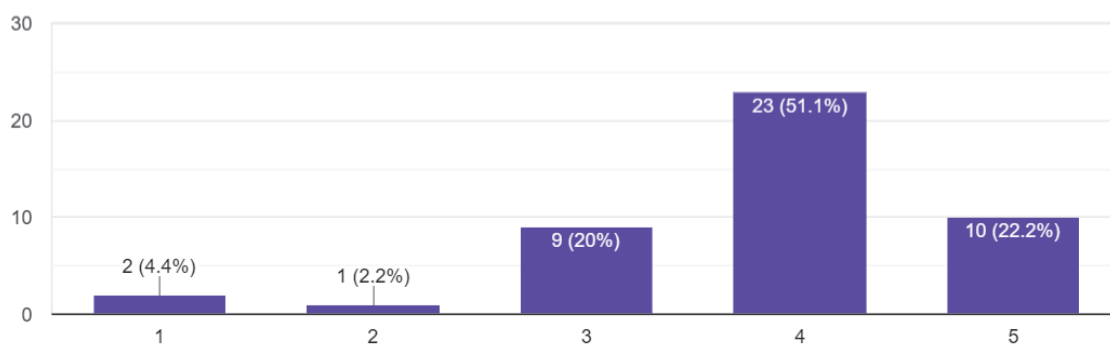
45 件の回答



④ SNSリテラシーへの理解は深まりましたか？

コピー

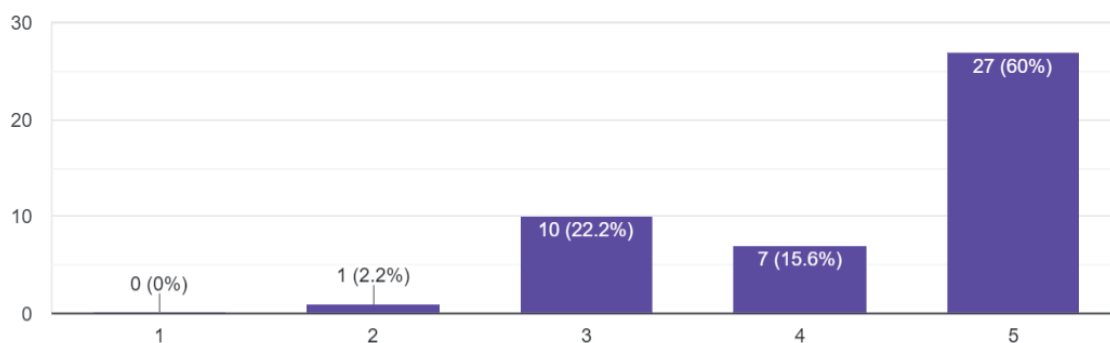
45件の回答



⑤ 持続可能なふるさとの未来を想定して名古屋をもらいあげる企画は良かったと思いますか？

コピー

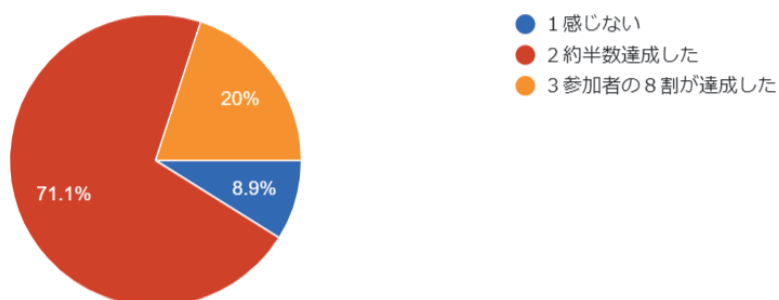
45件の回答



⑥ 来場者全体でSDGsへの意識向上は8割達成したと感じましたか？

コピー

45件の回答



上記で4または5を選択した人におたずねします。

①高評価をつけた理由（事前と事後の意識の変化など）を教えてください。

37件の回答

自分が伝える側になったことで、知識や理解も深まったと感じたから。
本番以外でも準備の段階で調べたり、ほかの班の進捗を聞いたりする過程で徐々に理解が深まった。
自分のブースについて調べたり展示を見ていくなかで新たな気付きや発見が多かったの
自分でできることは身近にあるということを理解できたり、衣服の廃棄問題など自分が知らなかったことについても知ることが出来たりと改めて環境について考えることが出来たから。
家で防災のグッズなどを揃えていなかったけど、チュー祭をきっかけに少しずつ備えるようになりました。 また、いじめに関しては、チュー祭前は自分が関わっていないなら大丈夫など思っていたこともあったけど、チュー祭後は自分だけでなく周りに目を向けて相談を聞いたりしていじめに対する意識が高まりました。
環境ブースを担当して、SDGsについて色々調べているうちに今までは自分には自分でできることなんてないと思っていましたが、自分にもできることがあるんだと気づけたからです。
チュー祭に参加する前は、SDGsは何かもわかりませんでしたが、参加するにあたってどのような仕組みで、どんな事を気をつければ良いのかが気づくことができて友達や家族にもこうゆうことがあるんだよ〜と教えることもあったので知ったことが増えて、日常生活でも意識するようになりました。
自分含めごみの分別など初めて知ることがあったし、チュー祭に来てくれた友達からSDGsについてこういうことだよと他の人に広めてくれるから。
来場者の方が進んでブースの内容について質問してくれた。他のブースを見学しに行った時、自分の意識向上に大きく繋がったから、きっと他の人にも伝わっているものがあると思う。
「チュー祭でこんな事言っちゃったし」と温度設定や資源保護など、様々な行動に移すようになったから
皆それぞれが、チュー祭をより良いものに作り上げようと様々なことを調べながら準備してきました。その中で改めて気付いたことや考え直したことがありました。さらに、その調べた内容をもっと多くの人に伝えたい、もっと多くの人に知ってもらうためには次回のチュー祭でどうすれば良いか、さらにさらに先のことを考えるようになりました。
展示を見ながら自分が思ってもみなかった視点に気づかされ、気を引き締めようと感じたことが多かったから。
・自分のブースの内容について自分で調べたことで理解度が深まった
・いじめ撲滅ブースのバックを友達が使っていて描いてある内容について考えるようになったから
自分の担当していたブースに関しては、動画を作成している時にだんだんと意識が高まっていった。
担当していないブースに関しては、時間が空いた時にポスターを見たり手伝ったりして自然と意識が高まった。
自分の担当していたものについては意識・理解が深まったが、他の人の担当していたものは任せっきりになっていたせいか変化は特に感じなかった。
知らなかったことがたくさんあったなと思ったから。
防災ブースでは実際の津波の高さを実感できたり、どんな物が必要なのか、などの多くの情報を知ることができました。なので、より防災についての意識が高まったと思います。加えていじめ撲滅ブースでは、自分が担当した事もあり、いじめとは何かについてたくさん考えたので高まったと考えました。
今まで考えた事が無かった角度からSDGsについて知ることや考えることが出来たから
私は名古屋にすんでいるけれど、あんかけて名古屋飯だったんだ！など名古屋にすんでいるからこそ、知らないこともたくさんあったからです。
防災ブースで参加者の方から災害に遭われた話を聞いたことで、意識が高まったと思う。
提示が具体的だった(1をつけたのは見ていないからです🙄)
意識することが出来、自分の身にしっかり引き付けて考えれたから
自分が知っていること、知らないことが分かったし、自分から情報を収集することも大切なのだと気がついた。
チュー祭の実行委員になる前までは、SDGsについての知識があまりなかったけど、チュー祭の実行委員になり、チュー祭に向けて様々な準備をしていくなかで、自ら調べて考えを深めることができたから。
私が担当したいじめ撲滅では来場者の方に発信する為に、まずは自分自身がこの問題について深く知ろうと情報収集を行い、問題の深刻さや解決の難しさについて知ることができ理解が深まったと感じました。また、他のグループの案や取り組みを見て、今まで自分だけでは気付かなかったこと知らなかったことなど自分以外の視点からの意見を知ることができ理解が深まったと感じました。
イベントを開催することによって、SDGsの名称を多くの人の目に触れさせることができたと思うため。
身近過ぎて知ろうともしない名古屋のことをもっと知りたいと思ったから。
会場内のブースでの体験で知らなかった情報を知れたり、自分が関わって調べたりしてより関心が高まったと感じたから
名古屋の知らなかった魅力について知ることが出来たから。普通に過ごして自分達の街について知る機会がないからそういった機会を得られることがよかった。
SNSについて調べたり、ブースに来てくれた人のアンケートを見たりして、事件が起こりやすい年齢層やその人たちがSNSを使っている時間、その理由を知ることができたから。
中学生の発表や展示物を見ることで、中学生の訴えたいことや危機感を味わうことが出来ました。また、大学生同士で話し合ったり中学生とコミュニケーションをとっていくなかでも、徐々に問題解決への道が見えてきたと感じたためです。
「中高生が」様々な活動に取り組み、住んでいる地域や環境をより良くしようとしているところを見ると、自分ももっと意識を向けなければならないと感じるようになったため。自分より年齢の低い子が活発に行動し、それを発信している姿を見ると心を動かされるように感じた。
新たな知識が手に入ったという点は勿論、自分たちで協力して伝える活動を計画実行したという点から、強い意識と深い理解を持ってその輪を広げていく責任感が生まれたから。
SNSを使用していく上で、慎重に発言しようと思うことができた。
津波の高さをより具体的に分かり、ただ事じゃないとはっきり感じました。
環境ブースが用意したゴミ箱などが楽しく分別できるようになっていて、より楽しく環境について理解を深めることが出来たと思ったから。

上記で4または5を選択した人におたずねします。

①高評価をつけた理由（事前と事後の意識の変化など）を教えてください。

37件の回答

2日目のディスカッションでは立場が違う人の色々な考え方を知れたので、SDGsのテーマの読み取り方についての意識が変わり、より深く考えるようになった。
SDGsについての講演会でみんなで一緒に問題について考えたことが意識向上に繋がったと思います。
SDGsに直結はしなくても、どれも、そこに繋がる内容だったので、SDGsの注目度も高くなり、学校などでも取り組むようになってきた今、学生がSDGsを伝えることで、自分で調べるところから、それを人に伝えるという段階にステップアップできる機会をいところが来てくれて、「これから友達と遊ぶときに大きい鞆で行く！！！」と言っていた (遊ぶときに毎回友達と選んで、鞆に入らなくてレジ袋をもらっていたらしい)
いところが来てくれて、「これから遊ぶときにもっと大きい鞆で行く！！！」と言っていた (遊ぶときに毎回とお菓子を薬局に買いに行き、鞆に入らないときはレジ袋をもらっていたらしい)
キャップを貼るものを体験した際に実際体験する事で体で体感することができた
ペットボトルのキャップを貼っている時に、友達とSDGsの話をしていたので意識向上に繋がったと思う。
会場で小学生の子供が自ら興味を持ってSDGsかるたに取り組んでいた様子は印象的でした。彼も未来のリーダーだ！
環境ブースのゴミ箱アンケートでは、来場者の人たちが質問に対して、みなさん真剣に回答を考えてくれました。少しでも多くの人々が環境問題について気にかけてくれると、環境や資源は守られ、私たちの美しい地球は美しいままでいられます。
私の家族、親戚も来てくれていて、チュー祭から帰ってきたときに「友達と遊ぶときにお菓子が入る袋持ってかなきゃ」といって実際に体験、体感できるものが多かったこと。
色々な年代の方からの意見を聞けたので、自分が調べたことや知っていたこととは別の回答を聞いて、考えが深まった。
特になし
非常袋の展示で、お客さんの反応が良かった。
身近な備えを常にしておくという防災のメッセージが伝わったと思う。
防災のワークショップで今度やってみるねと言ってくれた。
防災ブースに来てくれた方が「この防災グッズないから買わないといけない」やワークショップで「家でも作ってカバンに入れておきたい」などの声を聞いたので少しかもしれませんがみなさんの意識は高まったと思いました。
来場した方が、色々質問してくれたこと。
来場して下さった小さな子供からお年寄りの方が多くの体験をしてくださいました。その中でも私は、小さな子供が防災ブースに置いてある防災グッズや家康様のクイズなどを体験し、今まで知らなかったことを吸収したり、大人が子供にそれらについて教えている姿を見て、イベントを通して大人の意識が改めて向上しその意識の変化がこれからを担う子供たちに伝えられ、子供たちの意識
来場者の方が防災ブースのチラシやポスターを熱心に読んで、「すごいね」と言ったり、中高生に質問していたりする場面を見た。来場して展示を見たことで、様々な取り組みを知り、意識の高まりが伝染していったように感じた。

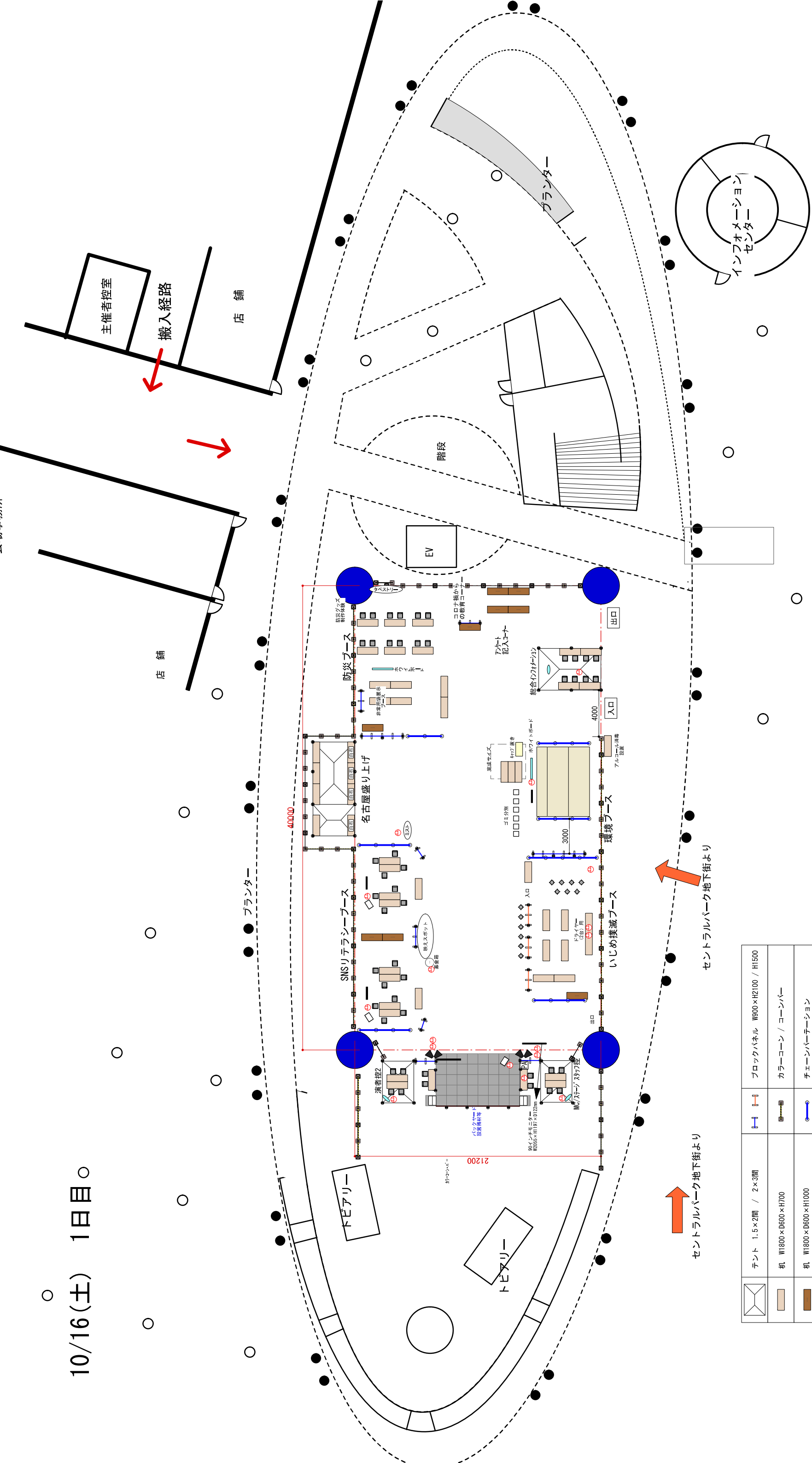
名古屋市生徒会サミット2021 中学生の祭典「チュー祭」
名古屋市教育委員会 共催者としての成果と課題

今年度行われた中学生の祭典「チュー祭」は、2015年度生徒会サミットで当時の中学生たちの議論の中で生まれたアクションプランが実現したものである。一つの目標に向かい、名古屋市立中学校の複数の生徒会が協力し合って、時間を掛けて合意形成を図るという作業は、目先の成果を求めるものではなく、人間の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う貴重な時間となったと考える。

名古屋市教育委員会としては、これまで「名古屋市生徒会サミット」及び「中学生の祭典『チュー祭』」について、各学校に周知を行い、その意義について伝えてきたが、中学生たちが「チュー祭」を最後までやりきったという実績は、その意義が十分果たされたことを表しているとともに、持続可能な社会を担う人材育成について一つの道筋を示したものと考えている。

今回の「チュー祭」の成果が各学校に共有され、中学生が自ら地域に貢献していこうとする機運が高まっていくよう支援を行っていきたい。

10/16(土) 1日目

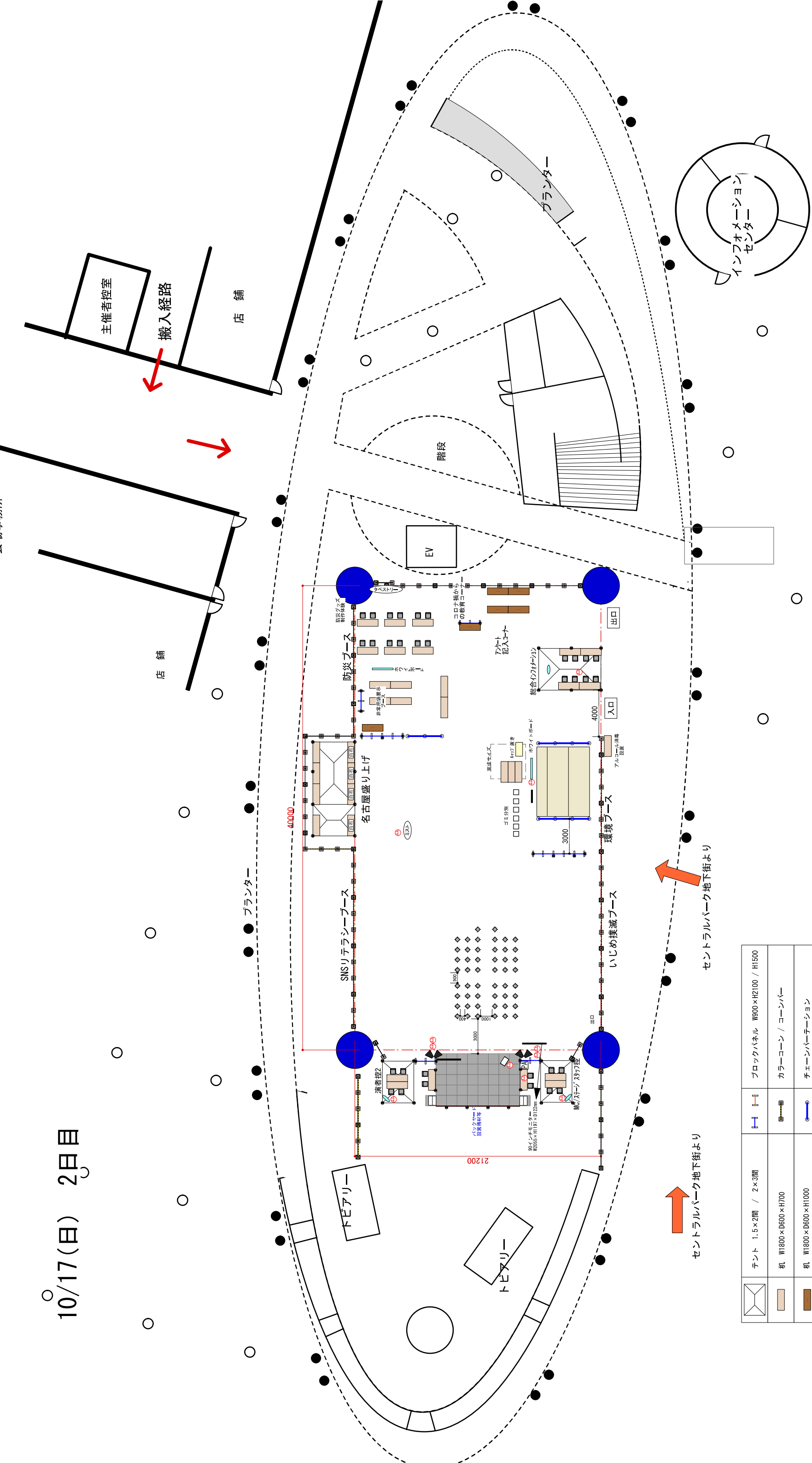


	テント 1.5×2間 / 2×3間		ブロックパネル W900×H2100 / H1500
	机 W1800×D600×H700		カラーコーン / コーンバー
	机 W1800×D600×H1000		チェーンバーテーション
	丸テーブル 700φ×H700		ステージ W800×D900×H900
	折り畳み椅子(会場備品)		モニター 90インチ / 40インチ
	丸椅子		ホワイトボード W1800
	司会台		扇風機
	平台		パンチカーペット ページュ

防災番号
 ブロックパネル B-23-0237
 パンチカーペット ED-810360

セントラルパーク地下街より
 セントラルパーク地下街より

10/17(日) 2日目



	テント 1.5×2間 / 2×3間		ブロックパネル W900×H2100 / H1500
	机 W1800×D600×H700		カラーコーン / コーンバー
	机 W1800×D600×H1000		チェーンバーテーション
	丸テーブル 700φ×H700		ステージ W900×D900×H900
	折り畳み椅子(会場備品)		モニター 90インチ / 40インチ
	丸椅子		ホワイトボード W1800
	司会台		扇風機
	平台		パンチカーペット ページュ

防災番号
 ブロックパネル B-23-0237
 パンチカーペット E0-810360

セントラルパーク地下街より
 セントラルパーク地下街より

■おわりに

中学生の祭典「チュー祭」を実現するために、2016年当初は13名で発足した実行委員も53名になり、学校の垣根も学年の垣根も超えた実行委員会となりました。

しかし、2020年からの新型コロナウイルス感染症の影響により、学校でも思うように勉強や部活がままならない中、学校外のこの活動に対してモチベーションを保ち続けることができるだろうか、実行委員会も思うように開催することができない中、果たして実現にこぎつけることができるだろうかと担当者としてはずいぶん心配をしました。

2度の延期を余儀なくされましたが、「チュー祭」当日は、直前の奇跡的な感染数の激減、お天気にも恵まれ、子ども達は多くの準備をやり遂げ、実に生き生きと能動的に活動しました。

この事業は未来のリーダーを育成することを目的としています。どんな困難があっても利他の精神を持ってやり遂げる『志』が必要です。その子ども達の頑張りを支えてくださったご家族の皆さま、各中学校の先生方、地域の皆さま、共催をしてくださった名古屋市教育委員会、後援をしてくださった名古屋市、名古屋市立小中学校校長会、公益社団法人名古屋青年会議所、快く協賛してくださったスポンサー22社の皆さまに支えられて「チュー祭」開催を無事開催することができました。心よりお礼申し上げます。

弊協会はこれからも、名古屋の子どもたちが自ら考え、能動的に未来の名古屋に貢献できる真のリーダーを育成すべく活動を続けていく所存です。

どうぞこれからも本事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年2月1日

担当 教育支援協会東海専務理事 西尾真由美



協賛企業

(50音順)

- 1 (公社)愛知建築士会 名古屋名南支部
- 2 株式会社アババイ
- 3 株式会社エスワイフード
- 4 株式会社オーシャングローバルネットワーク
- 5 株式会社カムロ
- 6 株式会社桂新堂
- 7 鈴木琢夫建築設計
- 8 有限会社スパゲッティヨコイ
- 9 スロメ nagoya
- 10 株式会社フォーチュンエンターテイメント
- 11 株式会社蓬萊軒
- 12 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- 13 株式会社まるは
- 14 株式会社味仙
- 15 株式会社妙香園
- 16 株式会社矢場とん
- 17 株式会社山建商事
- 18 株式会社山下
- 19 株式会社山本屋総本家
- 20 ららぽーと名古屋みなとアクルス
- 21 株式会社両口屋是清
- 22 RT Photo

「名古屋市議会正副議長への報告会及び懇談会」について

～中学生の祭典「チュー祭」報告会を名古屋市役所5階大会議室で執り行いました。～

日時：2021年12月27日（月）10：00～11：30

場所：名古屋市役所東庁舎5階大会議室

目的：1. 中学生の祭典「チュー祭」の報告

2. 「未来の名古屋をより良くするために」をテーマに実行委員と正副議長、名古屋市議会議員が語り合う。

時間	内容	
10：00	開始 趣旨説明 自己紹介	教育支援協会東海代表 本多功 各議員の皆さま→実行委員
10：10	報告会	①映像視聴 ②実行委員代表から（山本都葵・伊藤結夢）
10：20	懇談会	進行 本多功 グループディスカッション ＜テーマ＞ ①これから求められるリーダー像とは 加藤議員+実行委員 ②市議会や市役所に何を期待するか 未来を担う子どもに何を期待するか 服部議長+実行委員 ③SDGsに向けて自分はどう行動するか 中村副議長+実行委員 ④名古屋の魅力を発信するアイデア 小川議員+実行委員
10：50	発表 ご講評	各グループ3分程度 各議員の皆さま
11：10	集合写真 見学	集合写真→移動 議長室→議場
11：30	終了	解散（実行委員東庁舎ロビーで解散）



NPO 法人教育支援協会東海代表によるチュー祭までの経緯と、この回の趣旨の説明

今までも正副議長さん方との懇談会を何度か行っていた。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響から行えませんでした。今年度はチュー祭を行えたので久々に懇談会を行うことができます。

こういう機会は、なかなかない機会です。この事業は、学校や家庭外で学校の垣根を取り払い、利他の精神で名古屋のリーダーになってくれる人が育ってほしいという思いで行っている。

名古屋市生徒会サミット 2015 で、「チュー祭」のアイデアが出てから育ってきた。第1期生が大学生になり、高校生、中学生が集っている。これからもタテ・ヨコ・ナナメのつながりが続いて、さらに、みなさんの力が発揮できるようなときがくるよう願っている。

おじさんおばさんが育った時代は、日本がよい時代だった。今の中学生は、それを知らない。今の子どもたちは日本が心配。まずは名古屋を愛し、なんとかしたいという純粋な気持ちを持つ子供たちと話す機会にしてほしい。

「名古屋の未来をよりよくしていくために」実行委員と議員との懇談会

<テーマ毎のディスカッションの発表>

テーマ1. これから求められるリーダー像とは

議員さんと話しをすることは初めてだった。これからのリーダーを育てていくためには、このようなグループに入っていない人でも議員さんと話したり自分の意見を出したりできる場所があってほしいと思った。

テーマ2. 学生から市議会や市役所に期待すること。議員から未来の子供たちに期待すること。

学生側から：

- 中学生が職業に触れる機会を作してほしい、職業体験の幅を広げてほしい。子供が好きだから保育士になりたいというのは、職業観が固定されている気がする。子供と関わる仕事は他にもある。
- 情報氾濫社会である現代は正しい情報を選び取ることが難しい。たまには、紙の百科事典にもどることも大事ではないか。
- 女性専用車両やレディースデイは男女平等についての話であるが、これからは人間の平等についても考えていきたい。

議員側から子供たちに期待すること：

政治は華やかなエンターテイメントではないが、それがないと生きていけないため、政治についてもっと知ってほしいと思う

テーマ3. SDGs に向けて自分はどう行動するか。

- ジェンダー平等：以前よりは LGBT の違いも個性として認められ、相互理解がなされている。→若者の経験が浅いため、知る機会を作るのがよい。
- 気候変動：気候の変動により魚の不漁が起こったり、人命が奪われたりする。そのような変動は二酸化炭素の増加など人間の活動が関係している。地球全体がひとつの国家として団結することが大事だと学んだ。

テーマ4. 名古屋の魅力を発信するアイデア。

魅力発信というと SNS での発信がよく出るが、例えばたこ焼きがあるから大阪に行くかということ、そうではない。発信をするなら、行動に移せなければ意味がない。名古屋城は、大きなイベントなどがあると人が集まるため、お祭りなどをするといい。また、名古屋市の魅力を発信する前に、身近な区の魅力を知り、発信することから始めてみてはどうか。

議員のみなさまからの感想

加藤様

大変有意義な話をした。大変熱意をもっているため、朝までやってもいいくらい。田中角栄を知っていることがうれしかった。自民党の言うことに野党やヤジを飛ばすのはいけないと観察したのがすごい。この3人は将来議員になれる力があると思う。がんばりたくてもがんばれない人を支えるのがこれからのリーダー像だと考える

服部様

みなさんにお会いするのを楽しみに来たが、期待通りであった。これからもたくましく前進してほしい。情報氾濫社会において「うそを見極める力」は健全な民主主義のために重要な力。人間平等についても、我々の若い頃とは全く違う発想をお持ちで心強い。みなさんにはぜひ市政の担い手を目指してほしい。

中村様

今日は期待以上のものを得た。今後の日本や世界は青年の熱や力を活用しなければ、未来は暗い。みなさん、がんばってください。

小川様

大変盛り上がりました。名古屋の魅力を発信するためには、名古屋飯が出てくる。我々の時代は、中学生が鰻や手羽先などを食べたことがなかった。今の時代を知った。名古屋という大きなことを考えることも大事だが、まずはそれぞれが住んでいる区のことを考えることが大事なのではないか、身の回りの魅力を知ってもらうことが重要なのではないかという結論に至った。名古屋は素晴らしいものがたくさんあるのに、なぜ人が来ないのかという問いが、自分の宿題だと感じた。

協賛企業からのひとこと

ポッカサッポロフード&ビバレッジ様

私たちはサッポログループの中で食品を扱っている。ポッカサッポロのポッカは名古屋で創業した会社で、その縁から次世代の育成に協力させてもらっている。これからも、微力ながら応援したいと思っています。



問い合わせ先

NPO 法人 教育支援協会東海 代表理事 本多 功
名古屋市西区南川町 297 番地
TEL 052-505-4900 / FAX 052-506-9078

NPO 法人 教育支援協会東海 専務理事 西尾 真由美
E-mail : m.nishio@kyoikushien-tokai.org
mobile : 080-5130-2403 (お問い合わせ電話番号)
URL : <http://kyoikushien-tokai.org>